

企業存続の鍵を握る税理士のための特別セミナー

## 中小企業・ファミリービジネスを 永続させるために

～顧問税理士の役割と専門家間連携による顧客への価値創造～

対象者	中小企業、特にファミリー企業の顧問を務める税理士、事業承継に関わる専門家
内容	ファミリービジネス永続化の課題と解決策、税理士の役割、専門家連携の重要性を実体験を交えて解説
実施時間	実施時間は、質疑応答を含め60分程度を想定していますが、ご希望に合わせて調整いたします。 (30分や120分などでの実施も可能です)
実施方法	対面・Web・対面／Web併用いずれの方法でも実施可能です。

## 講師紹介



鳥飼総合法律事務所  
パートナー弁護士  
松野 史郎

東京大学法学部卒。ジョージタウンローセンター修了(LL.M.)。祖父から受け継いだ不動産管理会社を自ら経営し、ファミリー企業としての課題にも日々向き合う。過去にはファミリー関連企業の破綻を経験し、親族の離婚や乗っ取り屋の介入を受けるなどファミリービジネスのリスクを身をもって知る。経営者の目線や想いを深く共有しながらの事業承継や資産管理の法務支援に強みを持つ。法律の知識に加え、経営者の現場感覚と当事者意識を持つ数少ない実務家。



鳥飼総合法律事務所  
カウンセルパートナー弁護士  
久保田 真悟

TMI総合法律事務所、パーソルホールディングス株式会社での執務を経て、2021年鳥飼総合法律事務所へ入所。King's College London修了(LL.M.)。専門：コーポレートガバナンス、コンプライアンス、M&A・事業承継など。近時の主な著書・論文：『コーポレートガバナンスの実務 1年目の教科書』(2024 中央経済社)、「ミドル・スモール上場企業に求められる経営・ガバナンス改革」(Corporate Governance Vol.18 - 2025年4月号(日本取締役協会))など。セミナー・講演多数。

## 講師からのメッセージ

私たちは、日本の中小・ファミリー企業の経営者一家やオーナー家など、「次代へと受け渡すもの」を抱えるファミリーが、子々孫々にわたって「感謝と幸せのバトン」を渡していくために必要不可欠なガバナンス体制の構築等のサポートを、顧問税理士の皆様と連携しながら、社会に広く実践して参りたいと考えております。本セミナーでは、経営者としての実体験と法的知見を織り交ぜながらお話しするとともに、あわせて、顧問先との永続的な関係性を構築するという観点から、クライアントに対して価値を創造して報酬を得るという専門家の姿勢についてもお話しをしております。